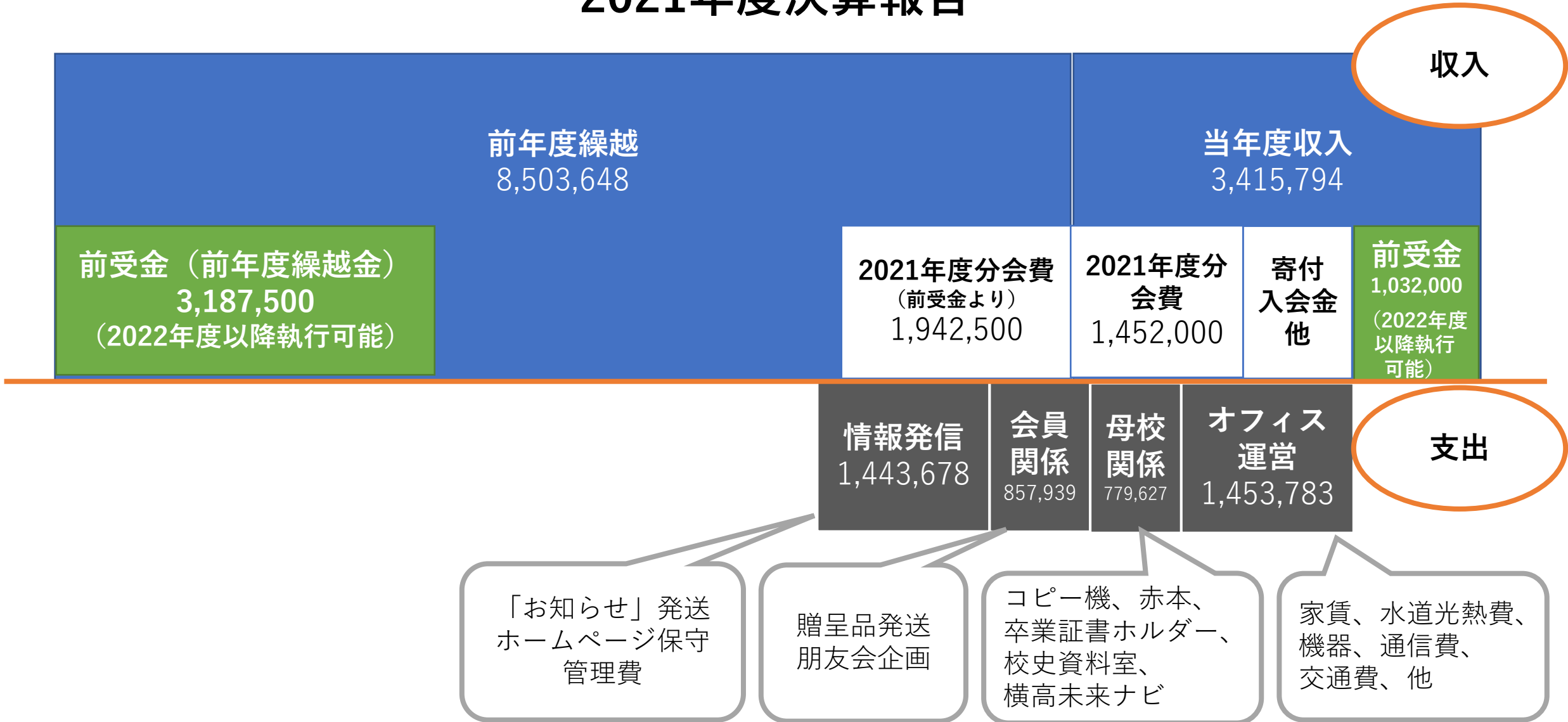


2022年度總會 議案說明資料

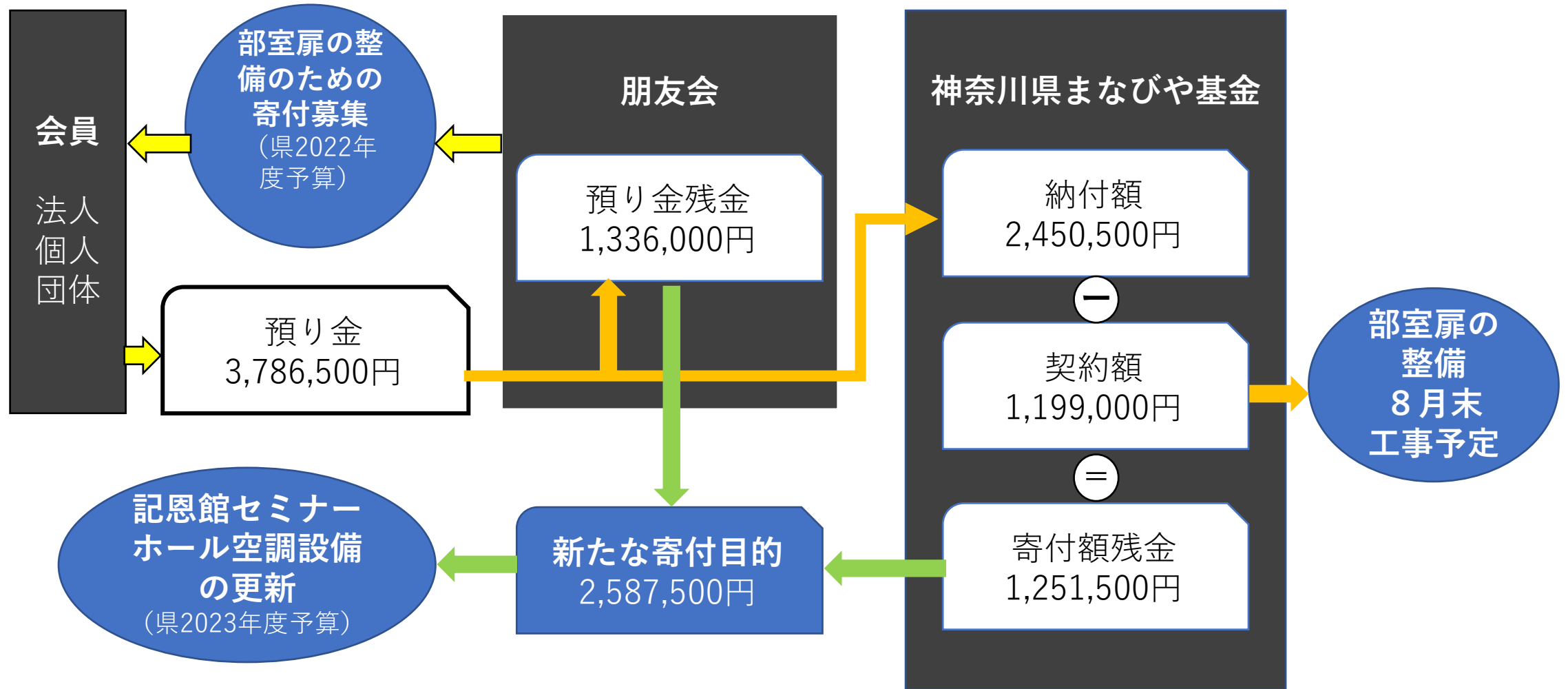
2022（令和4）年度第1号議案

2021年度事業報告・決算報告 承認の件

2021年度決算報告



県まなびや基金への寄付（指定校・指定目的）



朋友会は、母校と連携を取りながら（図中、青色部分）会員に寄付募集の声かけをおこない、寄付の目的を達成するために会員からの寄付金を預り、県まなびや基金に目的額を納付している。

2022（令和4）年度第2号議案

会則の一部改正の件

各期代表 ⇒ 各組代表



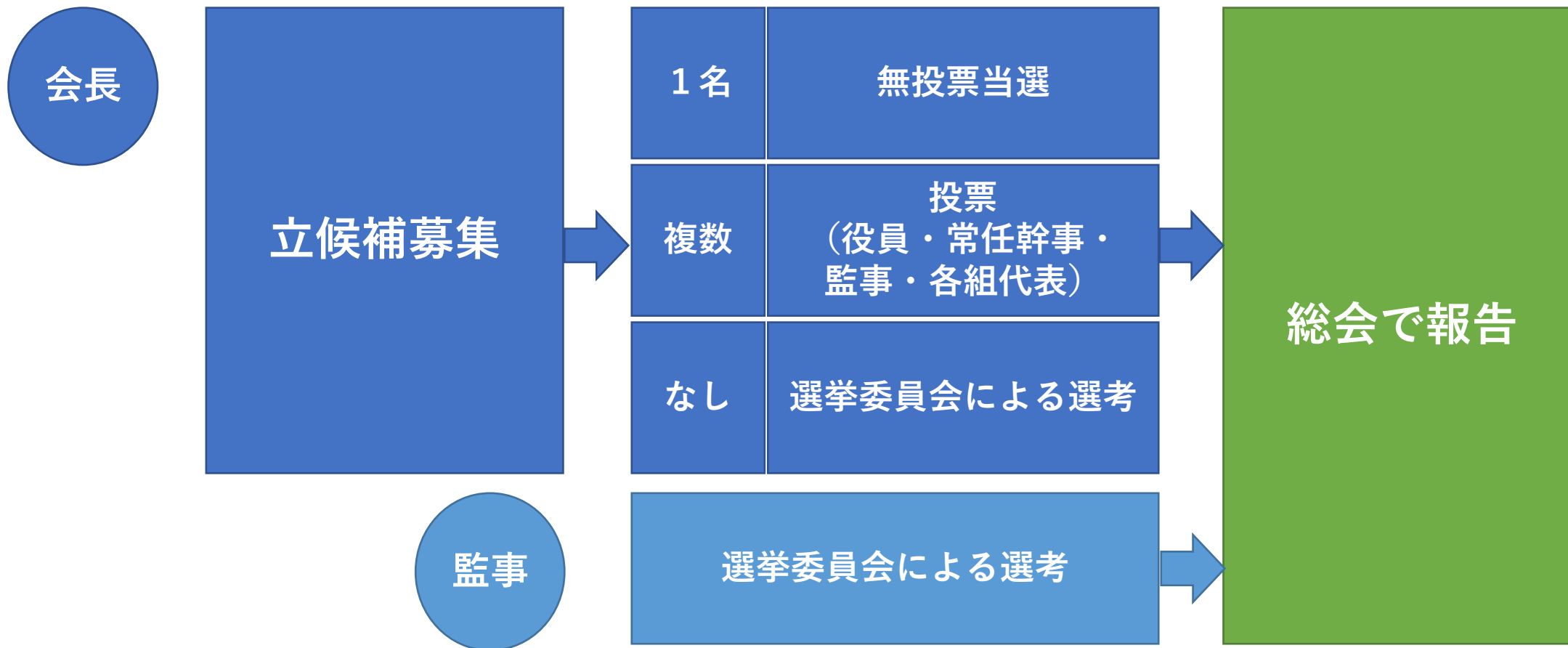
2017年度の時点で各期幹事が不明になっていたため、2018年会則の改正により「各期代表」を各期で選出するようにした。⇒横のつながりがあまりないため期での話し合いが難しい。

2020年度より、各期代表を各クラスから選出するようお願いしている。

より、選出しやすいように「各期代表」を「各組代表」とする。

各組から代表がそろうことで、卒業生のつながりを継続していくことができ、後輩を支援し続けていくことができる。

会長・監事選出時の選挙委員会の役割



会則の改正 Q&A

Q1. 各組代表を選出できない組もあるのではないか。

A1. 親睦会という会の性格上、選出できない組があることは仕方ないことと思います。代表がいない組の会員への情報伝達等は、同期の他の各組代表と連携しながら行いたいと思います。

会則の改正 Q&A

- Q2. 会長選挙を行うのであれば、選挙に関する規定をもっと会則に盛り込むべきではないか。
- A2. 従前は選挙に関する規定は会則にも他の明文規定にもありませんでした。今回は、「別に定める」と会則に規定した上で、別に明文規定を設けます。※説明資料P10「選挙委員会について」
- Q3. 会長候補者は、会費納入者に限るなどの条件を付すべきではないか。
- A3. 当選後の役員の指名もあることから、推薦人の相応の人数の確保を選挙委員会に関する規定の中に盛り込む考えはありますが、会費納入は会員の当然の義務であることから会費納入の有無を含める考えはありません。

会則の改正 Q&A

Q4. 監事も選挙とすべきではないか。

A4. 考え方としては、総会議案内6ページ改正の理由「2－(3)」のとおりです。しかし、相応の見識をお持ちの方で監事就任の意思があるのならば、選挙委員会にお申し出いただければと考えます。

Q5. 誰でも総会への委任状を提出できるべきではないか。

A5. 考え方としては、総会議案内6ページ改正の理由「2－(4)」のとおりです。朋友会の運営に強く関心を持っていただいているのであれば、日ごろの朋友会の運営に携わる各組代表を担っていただければと思います。

選挙委員会について

会則の改正案が承認された際には、役員会において選挙委員会に関する規定を定めることとなります。この規定の内容については、次のような骨子で想定しています。

第一 選挙委員会に関すること

委員会は、副会長、会計、常任幹事により構成し、委員数は5人とする。

委員の任期については、始期は準備に必要な日数を考慮した任意の日とし、終期は選挙結果等の報告等を行う総会の開催日とする。

委員長は、委員の互選により選出し、委員会を総理するほか、職務代理者を指名する。

委員が会長に立候補した場合、自動的に委員を失職する。この場合、副会長、会計、常任幹事から後任者を補充する。

委員は、後述する推薦人になることはできない。

第二 立候補者の募集に関すること

立候補者は、本人以外に会員12人の推薦人を必要とする。

立候補者の募集については、スケジュールをあらかじめ朋友会ホームページ（以下、「ホームページ」）に掲載し、募集期間は1か月以上とする。

第三 立候補者が1名だった場合に関すること

無投票当選とする。

第四 投票に関すること

投票できる期間は1か月以上とする。

投票はメールによることを基本としつつ、投票権のある会員の意向を踏まえ柔軟に対応する。

第五 監事の選考に関すること

選考は、公認会計士等の資格の有無や経理・監査に関する業務経験によるものとする。

2022（令和4）年度第3号議案

2021年度事業計画及び予算の件

2022年度 活動方針

朋友会発足110周年・母校創立115周年という節目の年に、卒業生のネットワークをさらに広げよう！

すべての期の卒業生に
朋友会からの
「お知らせ」を発送

朋友会企画を募集

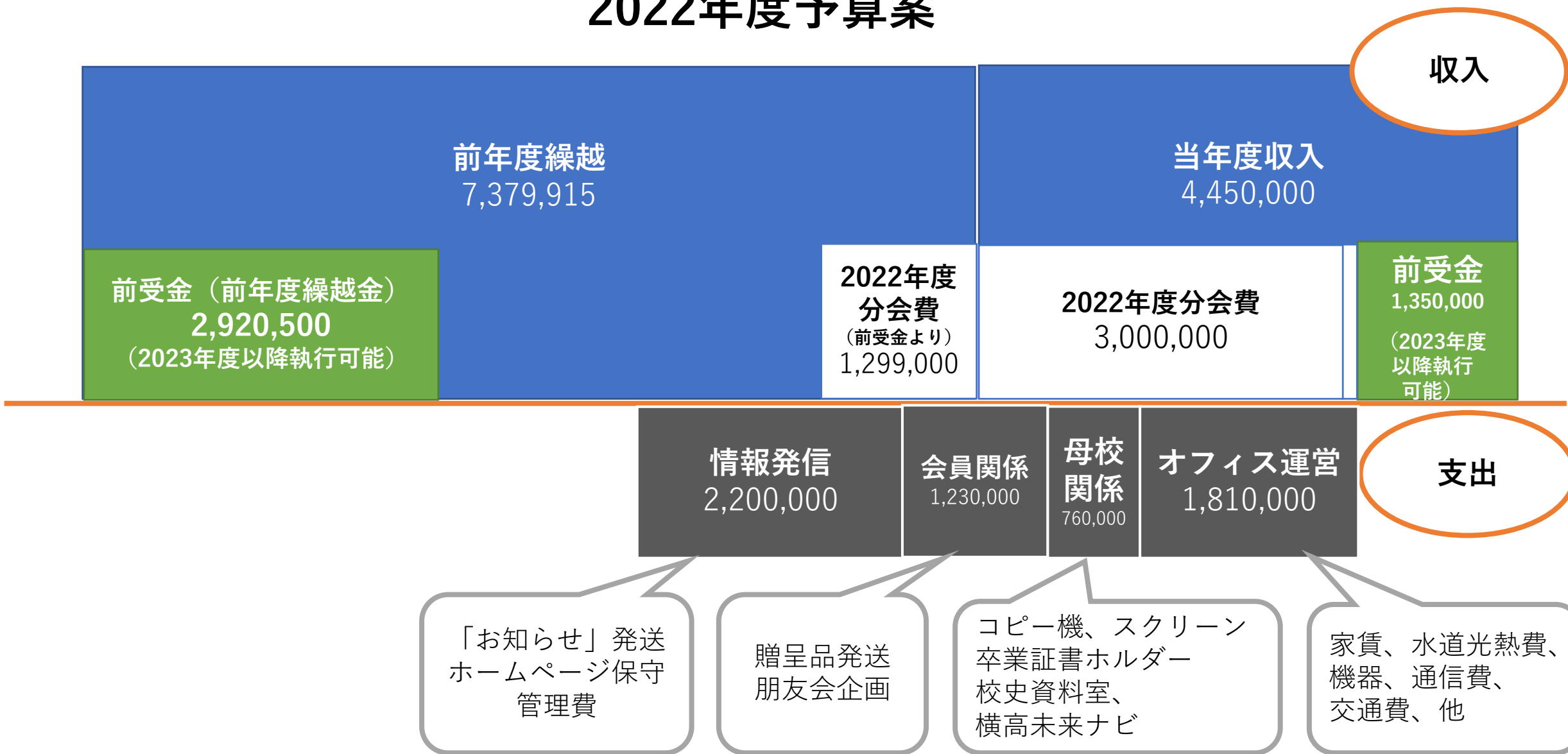
朋友会活動紹介の
動画を作成

郵便による発送から
メール配信に切り替え

記念品は、2023年
3月頃に一齐に発送

各組代表との連携を
強くする

2022年度予算案



予算案 Q&A

Q1. 2021年度決算書の当年度分会費納入額と比べると、予算案の会費収入が多いのではないか。

A1. 全会員への「お知らせ」発送をすること、朋友会企画が増えること、朋友会活動紹介動画を作成すること、各組代表を選出することで朋友会の活動を知ってもらう機会が増えます。朋友会の活動を知ることで「朋友会は卒業生みんなの会」であり、朋友会を継続していくことで「後輩を支援し続けていかれる」ことを伝えていきます。そして、会費納入につなげていきたいと考えています。

Q2. 会費収入が増えると、どんな使い道が増えるのか。

A2. 情報発信、朋友会企画、母校関係の費用を充実させることができます。

予算案 Q&A

- Q3. 会費納入を増やすために、Pay Pay等の電子決済とかクラウドファンディングサイトを利用することはできないのか。
- A3. 今は、現役世代に朋友会の活動を知ってもらうことを優先しています。活動を知って、参加して、卒業生同士で協力しあい、楽しんで欲しい。現役世代のつながりが強くなってきたら、新たな会費納入の方法を考えていきたいです。今はネットバンキングから②の方法でも振込ができるので、ぜひ、会費納入をお願いします。

★現在の会費納入方法は、

- ①口座振替⇒毎年9月27日に年額1500円を口座から引き落とし
- ②ゆうちょ銀行への振込⇒単年だけではなく複数年分納入可
- ③ゆうちょ銀行の払込票を利用⇒予算の都合上、2022年度は会費払込票の発送はしません。
- ④朋友オフィスでの納入⇒来訪日時をご連絡ください。